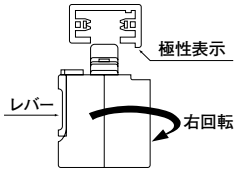
取付方法について

スポットライトの取り付けについて

■取り付け

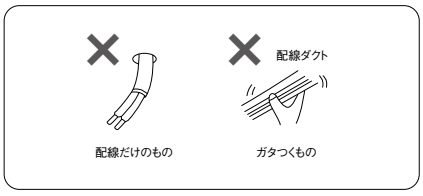
本体とプラグの極性表示を合わせてプラグを本体に差し込み、右に90度回転させてください。逆取付はできません。取付不備がありますと、器具が落下する恐れがあります。



■取り外し

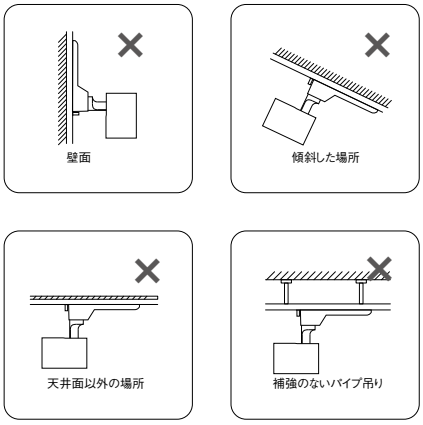
プラグのレバーを引き下げて、左に90度回転させてください。

●施工は、取扱説明書に従い確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。



●配線ダクトの設置または交換が必要です。
配線ダクトの設置・交換には資格が必要です。
販売店、電気工事店に依頼してください。

●天井取り付け専用器具です。下図のような場所に取り付けると器具の火災・感電・落下の原因となります。



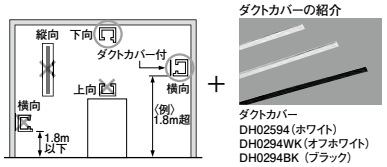
100V用配線ダクトシステムの取り付けについて

■ 100V用配線ダクトの施工について
（電気設備技術基準解釈第 165 条）

●ダクトは造営材に堅ろうに取り付けてください。
・ワイヤ吊りなどの不安定な施設は行わないでください。

●ダクトの開口部は下に向けて施設してください。上向き取付、壁に縦向き取付はできません。横向き取付には下記の通り制限がありますので厳守のうえご使用ください。
・必ずダクトカバーをして塵埃の侵入を防いでください。
・人が容易に触れる恐れのない場所に取り付けてください。（例えば1.8m超の場所）

※埋込取付の場合も同じです。



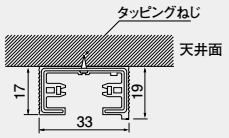
ダクト本体の取り付け

ベニヤ板のような薄い天井材や石膏ボードのような柔らかい天井材・壁材には取り付けないでください。取り付け面の強度が弱い場合、落下の原因となります。取り付け面の強度を十分に確認のうえ、あらかじめ補強を行うか、補強材の入っているところに取り付けてください。

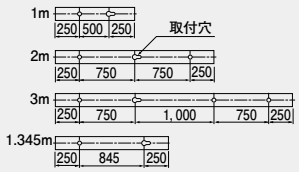
■本体を天井面に直接取り付ける場合

・本体同梱のタッピングねじを用いて天井面（壁面）に直付けしてください。

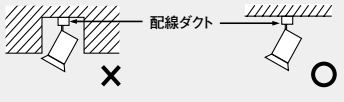
DH02511 DH0211
DH02512 DH0212
DH02513 DH0213
DH02519 DH0219
DH0221
DH0222
DH0223
DH0229



・取付穴は全て使用してください。

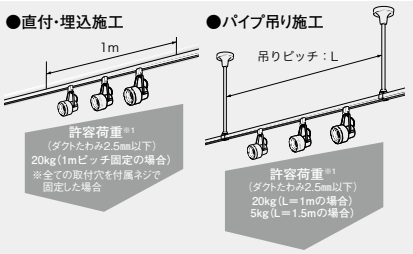


注）ダクト取付用木ネジの位置に、プラグを取り付けることができない照明器具があります。必ず仕様をご確認ください。
注）接続部品（ジョイナなど）で接続したダクト本体を天井面（壁面）に取り付ける場合は、本体の両端を持って接続部に力がかからないようにしてください。本体の一方の端を持って行うと接続部に無理な力が加わり、感電・火災・落下の原因となります。
注）照明器具が埋込状態となるような施工はしない。配線ダクト本体の温度が65℃を超えて使用すると、感電・火災の原因となります。



■100V用配線ダクトの許容荷重

100V用配線ダクト、アース付配線ダクトの最大許容荷重※1は、1mおきに固定されている場合、1mあたり許容荷重20kgまで取り付け可能です。

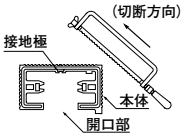


注）※1の許容荷重は、静荷重における配線ダクトのたわみ限度を示しております。
注）配線ダクトを壁面に固定する場合は、1mあたり許容荷重10kgとなります。
注）パイプ吊りダクトには、質量や形状により取付できない照明器具があります。必ず仕様をご確認ください。

ダクト本体の切断

■本体・パイプ吊りハンガー・埋込フレームの切断が、市販の鋸で現場で容易にできます。

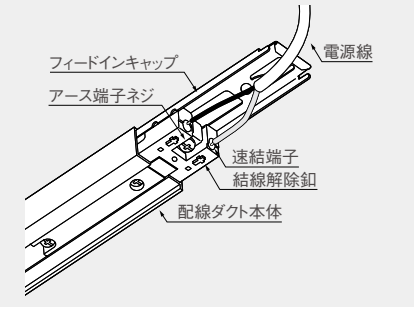
標準サイズ以外の長さを調節する時には、市販の鋸で切断できます。100V用配線ダクト本体とパイプ吊りハンガーは金鋸（手のこ）で、埋込フレームはプラスチック鋸をご使用ください。



注）ダクト本体の切断は、以下のことに注意して行ってください。不備がありますと、感電・火災の原因となります。
・ダクト本体の切断は金鋸（手のこ）を使用し、図のように開口部を下向きにして切断してください。金鋸（手のこ）以外の電動工具を使用しますと、絶縁被覆や接地極などがはがれたり、焼けたりすることがあります。
・ダクト本体の切断は、原則として終端部（エンドキャップ側）で行ってください。
・切断後、接地極に微妙な浮き上がりが発生した場合、修正してご使用ください。切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。導体に切りくずなどが付着すると、接触不良になることがあります。

フィードインキャップの取り付け

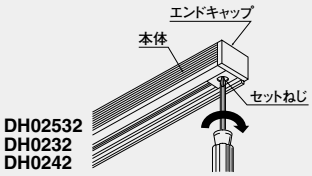
ダクト本体にフィードインキャップを差し込み、セットねじを締めて固定してください。カバー裏面に表示したストリップゲージに合わせて電線を段むきした後、電線のぞき穴から見えるまで差し込んでください。
電線をはずす場合は、ドライバーまたは指先で、結線解除釦を押しながら電線を引き抜いてください。



注）フィードインキャップの取り付けは、以下のことに注意して行ってください。不備がありますと、火災・感電の原因となります。
・セットねじは確実に締め付けてください。（締付けトルク1N・m以上）
・電線の接続は本体の極性突起を必ず接地側としてください。
・電線は1.6mmまたは2.0mmの単線をご使用ください。
・フィードインキャップなどの接続部材は、奥まで確実に差し込んでください。
・3芯ケーブルを使用し、D種（第3種）接地工事をしてください。

エンドキャップの取り付け

ダクト本体の端末部に差し込み、セットねじを締めて固定してください。



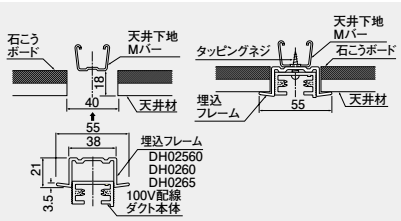
注）エンドキャップの取り付けは、以下のことに注意して行ってください。不備がありますと、感電の原因となります。
・終端部には必ずエンドキャップを取り付けてください。
・セットねじは確実に締め付けてください。
（締付けトルク1N・m以上）

埋込フレームの取り付け（施工方法）

①100V用配線ダクトのレイアウトに合わせて天井面に切り込みを入れる。
②埋込フレームをタッピングネジ（取付間隔約1mにする）で天井下地Mバーに取り付ける。
③長さ方向の切込みは100V用配線ダクト本体の長さプラス108㎜（フィードインキャップ、エンドキャップ付）としてください。

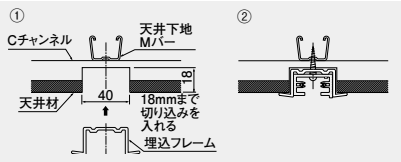
■天井構造の例（捨て貼り工法の場合）

①天井面の切り込み寸法　②埋込フレームの取り付け



■天井材が18㎜より薄い場合の施工方法

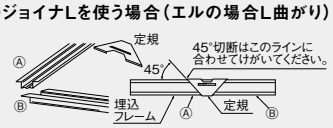
①埋込フレームと交差する部分のMバーを切除する。
②Cチャンネルで補強します。



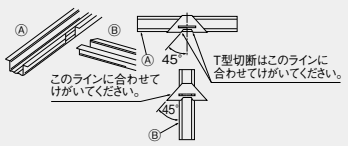
■口の字型、田の字型などに組む場合。

①埋込専用のジョイナL.T.+がないので埋込フレームを加工してください。
②標準のジョイナL.T.+と組み合わせます。定規は外箱（10本入）に1個同梱しています。

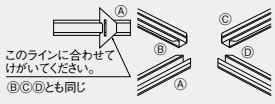
●ジョイナLを使う場合（エルの場合L曲がり）



●ジョイナTを使う場合（ティーの場合T曲がり）

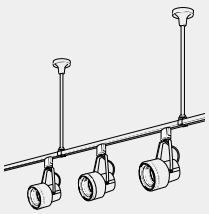


●ジョイナ＋（クロス）を使う場合



パイプハンガーの取り付け

取り付け高さに変化を持たせ、照明演出を効率よくします。



■天井の高い店舗や高さの変化を求める演出をする時、パイプ吊りハンガーを用いて、取り付け高さをある程度低くすることができます。パイプの長さも調節でき、最適な高さにショップラインを取り付け、スポット照明など効率よく行えます。

パイプ吊りハンガーおよびパイプ吊り伸縮ハンガーで本体を吊り下げる場合、長手方向への固定機能はありません。本体の終端部に取り付けるハンガーは本体の端から250～500mmの位置に取り付けてください。落下の原因となります。

■パイプ吊りハンガー

●100V用配線ダクトの本体部をパイプ吊りにする時のハンガーです。パイプの長さを短くする場合はフランジ側を切断します。

L=463　DH02580　L=1496　DH02584
L=463　DH0280　L=1496　DH0284
L=463　DH0285　L=1496　DH0289

■パイプ吊り伸縮ハンガー

●中間のニップルでパイプの長さを355mm～615mmの範囲に調整できる、伸縮タイプのパイプ吊りハンガーです。

DH02582　DH0282　DH0286

■パイプ吊りクロスハンガー

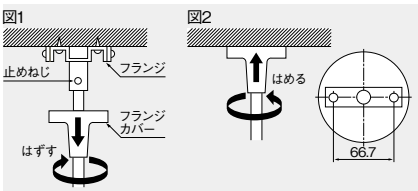
●フィードインキャップやジョイナ（S.L.T.+）部をパイプ吊りする時のパイプ吊りハンガーです。パイプの長さを短くする場合は、フランジ側を切断します。

DH02581　DH0281　DH0287

パイプ吊りハンガー、パイプ吊り伸縮ハンガーの取り付け

■フランジの取り付け方法

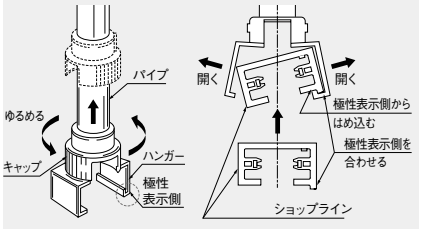
①フランジカバーを左に回しはずす。（図1）
②同梱の木ねじかタッピングねじでフランジを天井に取り付ける。（図1）
③フランジカバーを右に回し、もとの状態にはめ込む。（図2）



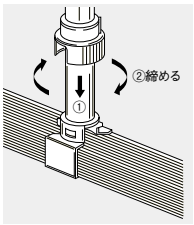
注）パイプ吊りハンガーを造営材に取り付けた後、長さを調節するときは、止めねじをゆるめ、パイプをはずしてフランジ側で切断してください。

●切断後、穴加工（φ5.5）をし、パイプをフランジに取り付けてください。

100V用配線ダクトの取り付け



①キャップを左へ回してから上へ上げて、ハンガーからはずしてください。



②ハンガーを開き100V用配線ダクト本体の極性表示と、ハンガーの極性表示を合わせて、はめ込んでください。

③ハンガーで100V用配線ダクト本体をはさみ、キャップを上からはめ込み、右にロックするまで回してください。

注）キャップが確実にロックされるまで回してください。不備がありますと、落下の原因となります。

パイプ吊りクロスハンガーの取り付け

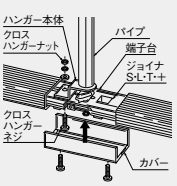
■フランジの取り付け方法

●パイプ吊りハンガー、パイプ吊り伸縮ハンガーの取り付け方と同じです。

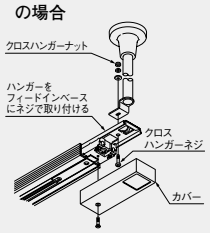
■100V用配線ダクトの取り付け方法

①ハンガーのナットとネジをはずす。
②ジョイナ（S.L.T.+）のカバーをはずす。
③ハンガーをジョイナに、ナットとネジで固定する。
④ジョイナのカバーをもとの状態に取り付ける。

●ジョイナ使用の場合



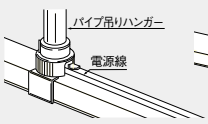
●フィードインキャップ使用の場合



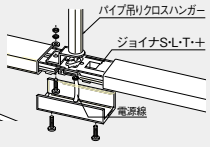
■パイプ吊り配線（電源の引き込み方法）

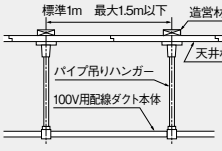
●配線はパイプ内を通り100V用配線ダクトに直接引き込み、美しく仕上げられます。ハンガーの取付支持間隔の限度は1.5mです。

●パイプ吊りハンガーの場合



●パイプ吊りクロスハンガーの場合





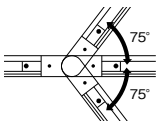
注）傾斜天井用ハンガーに加工した場合は、構造上、パイプ内に電源の引き込みはできません。

取付方法について

ジョイナについて

■自由な角度に曲がるジョイナで、天井面の形状などに合わせて接続。

■水平自在ジョイナ



左右75度まで、任意の角度に調整できます。100V用配線ダクトをフレキシブルにレイアウトする接続用ジョイナです。

注）電源の引き込みはできません。

DH02539
DH0239K
DH0251K

リーラーコンセントの取り付け

■取り付け

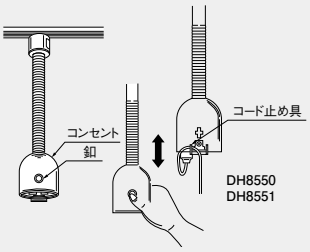
●本体とプラグの極性表示を合わせてプラグを本体にさし込み、右に90度回転させてください。

■取り外し

●プラグのレバーを引き下げて、左に90度回転させてください。

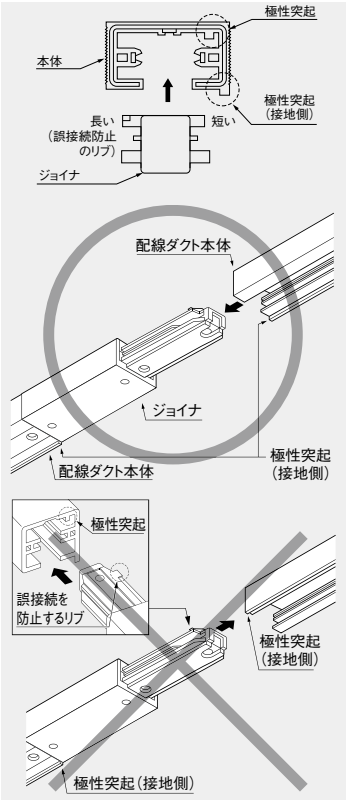
■ご使用方法

●コードの伸縮によりコンセントの上下移動ができます。（DH8550：約80～180cm、DH8551：約190～290cm）コンセントの本体を軽く引き下げてください。手を離した位置で止まります。元に戻す場合は釦を押したままで戻したい位置までコンセントの本体を押し上げてください。指を離すとその場で止まります。ご使用器具のコンセントキャップの抜け止めは、コードをコンセントのコード止め具に引っ掛けることで防止できます。



極性について

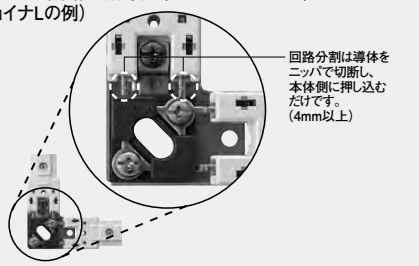
本体相互の接続にはジョイナをご使用ください。本体同士は必ず極性突起を合わせて差し込み、セットねじを締めて固定してください。



注）極性を間違えたまま無理に押し込むと危険です。

■ジョイナ部で回路分割ができます。

●ジョイナの回路分割方法（ジョイナS・L・T・＋）
（ジョイナLの例）

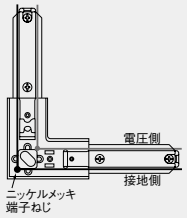


100V用配線ダクトシステムは回路分割が容易にできます。

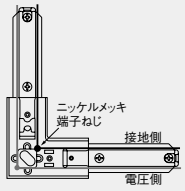
対象ジョイナ

・ジョイナL（右用・左用）・ジョイナS・ジョイナT（右用・左用）
・ジョイナ＋

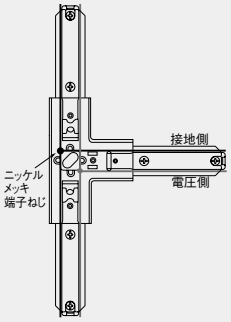
●ジョイナL（エル）右用の
端子部極性
（天井伏図用）



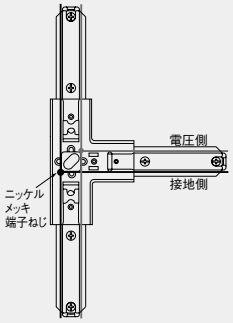
●ジョイナL（エル）左用の
端子部極性
（天井伏図用）



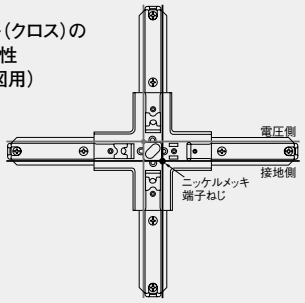
●ジョイナT（ティー）右用の
端子部極性
（天井伏図用）



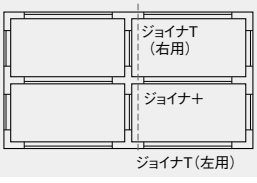
●ジョイナT（ティー）左用の
端子部極性
（天井伏図用）



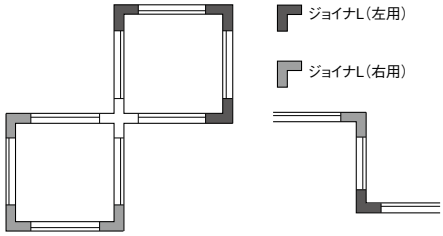
●ジョイナ＋（クロス）の
端子部極性
（天井伏図用）



■田の字形の回路分割例（天井伏図用）



田の字形レイアウトを2回路分割する場合は、中央のジョイナT（左用）・（右用）とジョイナ＋部分の端子部の導体を前記の要領で、ニッパで切断すれば、田の字形とヨの字形に回路分割できます。電源はジョイナL・T・＋から入れます。

■ジョイナL（エル）のレイアウト例（天井伏図用）

クランクレイアウトにする場合は極性を合わせなければいけません。ジョイナLの右用・左用に注意してレイアウト施工してください。